

# Arche21

鹿児島県立沖永良部高等学校 【進路通信】

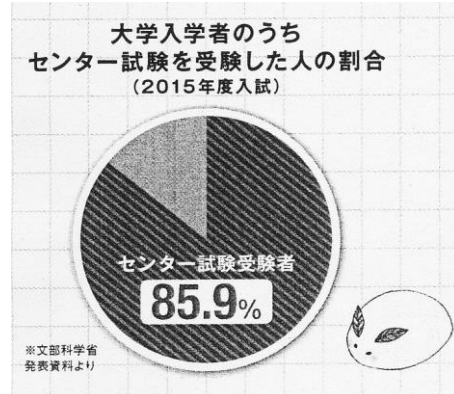
『Chance favors the prepared minds』  
(チャンスは準備された心に降り立つ)

ルイ・パスツール (生化学者・細菌学者)

## 大学入試センター試験，出発！

1月16日(土)～17日(日)に大学入試センター試験が行われる。今年の志願者は昨年度より4633人増えて、全国で56万3765人。志願者数が増加した要因には、国公立志向があげられる。教育・研究環境が充実している上、学費負担が比較的軽いのが理由だ。今年は特に、文系志願者が増加したことが大きいと見られている。昨年度から理科が2科目に増え、負担増と感じた受験生が敬遠していたが、ふたをあけてみると理科基礎は易しく、平均点が高かった。そのため、文系の受験生も国公立大志向が強まったようだ。また、推薦入試やAO入試でセンター試験を利用する大学が増えていることもあるだろう。

沖高生も普通科26名が琉球大学で受験する。船旅と宿泊を伴うセンター試験で、ベストな状態で受験することは難しい。しかし、離島のハンデを背負いながら受験する26名は、今後の人生に活かされる大きな経験となることだろう。健闘を祈っている。

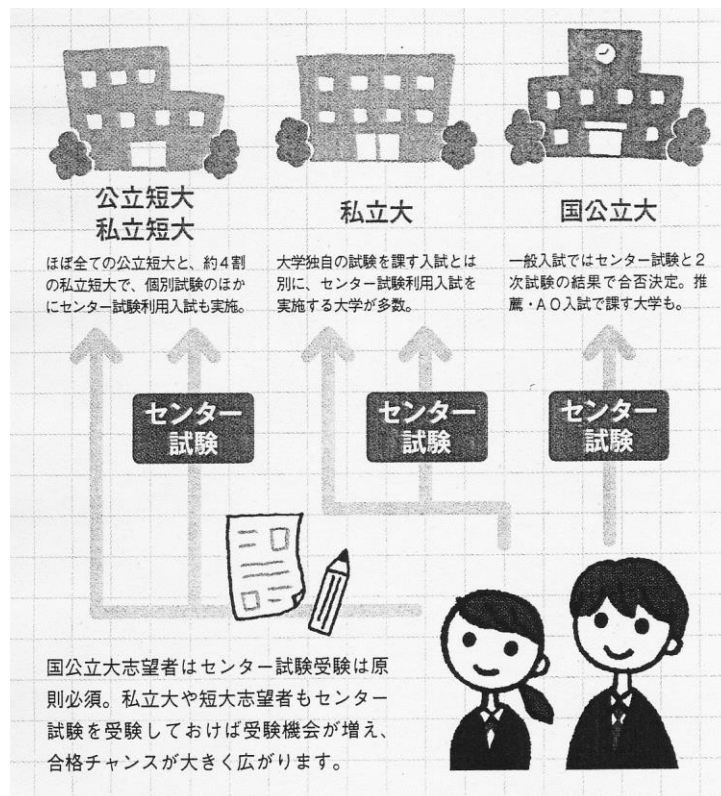


## センター試験とは？

大学進学者の8割以上がセンター試験を受験。これだけ多くの受験生がセンター試験を受けるのは、国公立大の他、多くの私立大、短大でセンター試験を利用する入試があるからです。また、国公立大の推薦入試でも半数以上の入試で課されています。

国公立大学の一般入試を受験する場合、センター試験の点数を見て、どの大学・学部の二次試験(個別学力試験)を受験するかを決めます。ただ、実際には、センター試験に出願する10月頃までには、ある程度絞り込む必要があります。大学・学部によって、センター試験で課される教科や科目が異なるからです。5月頃から各大学が「選抜方法・入試科目発表(要項)」を公表します。関心のある大学・学部がどの教科・科目を課すのか確認をするとよいでしょう。

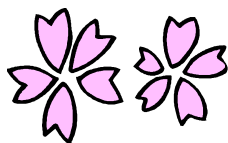
～センター試験の内容の8割は1・2年の内容からの出題。日々の学習がセンター試験に繋がる！～



(ベネッセ 保護者サポートより抜粋)



## 合格の声



### ☆名桜大学 国際学群

#### 診療情報管理専攻 合格☆

私は、推薦入試の受験までの3ヶ月間に小論文90本、面接40回以上の練習をしました。小論文練習では、毎日辞書をひき、忘れそうな字はメモをとりました。最初は甘い気持ちがあり、「やる気のない人の指導はしないから」と先生にしくじり宣告を受けたこともあります。また、面接練習では、一人カラ回ってしまったり、暗記ばかりで相手に何も伝わらなかったりと、心が折れそうになりましたが練習を重ね、なんとか形になっていきました。

私が最後まで頑張ることができたのは、支えてくださった先生方や励ましてくれた友達がいたからです。受験は想像以上に辛いですが、努力すればする程、合格へ近づけます。ですので、みなさんもあきらめずに頑張ってください。



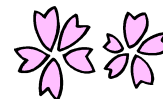
### ☆防衛省 航空自衛隊

#### 一般曹候補生 合格☆

私は、自衛官候補生と一般曹候補生の試験を受けました。試験内容は、どちらも面接・筆記・身体検査です。一般曹候補生は、一次に筆記・身体検査、二次に面接とあります。私が努力したことは、この試験内容すべてを頑張ったことです。筆記の勉強は、2年生から始め、体を鍛えることや体調管理は日々の生活の中で行い、面接は面接の本をたくさん読みました。

一番苦労したことは、「面接」です。商業科から自衛隊の面接を受ける人は夏休みの初めから練習していましたが、私は試験の5日前のスタートになってしまいました。気持ちも焦るし、とても大変でした。自衛隊に限らず、面接指導は早くからはじめた方が絶対にいいと思

います。「筆記」の内容は高1の内容です。私は、数学が得意だったのでなんとか数学でカバーできました。思っていたより難しいので、早めに準備していた方が良いです。また、礼儀作法などの基本的なことは、1・2年の今のうちからきちんとしていけば、試験前に慌てることもありません。皆さん、頑張ってください。



### ☆株式会社 にしけい

#### 航空保安検査員 2名合格☆

試験内容は、一般常識・作文・面接の3つでした。夏休みから面接の練習を始め、礼儀やマナーを覚えるのに苦労し、面接練習の後は質問事項をノートに書き、回答を考えてまとめる作業も大変でした。アドバイスをもらいながら、練習を繰り返す事で本番では緊張することなく、面接を受ける事ができました。苦手な作文は、2学期からは毎日1本書いて先生に見てもらおうようにしていました。毎日書き続け、20本以上は書いたと思います。練習の成果もあって、本番では一度書いたことのあるお題で、スラスラと書くことができました。先を見通して行動することが大切だと感じました。



試験へ出発する日、今まで共に頑張ってきた仲間や応援してくれてくれた友達、お世話になった先生方にメッセージなどをもらい、本当にこれまで多くの人に支えられたのだと実感しました。

私の高校生活最後の夏休みは、面接や作文などの試験対策に明け暮れており、とても休める状況になく辛かったが、その倍以上に先生が頑張っていたため、就職メンバーはここまで来れたのだと思います。試験は本番は、心臓が別の生き物のようにドキドキしましたが、それまで頑張ってきた自分や島からの応援が自信となり、とにかく「受かりたい」という気持ちで試験に取り組みました。その気持ちが伝わってか、無事に内定をもらうことができました。後輩のみなさん、就職活動は辛いですが、とにかく頑張ってください。頑張っていれば、必ず周りが支えてくれて、それが自分の力になるからです。仲間と支え合って頑張ってください。